

令和 6 年度当初予算概要について

1 被保険者について

- ・府中市の人口は 26 万人前後で推移しており、被保険者については、後期高齢者医療制度への移行及び社会保険の適用拡大に伴い、減少が続いている。
- ・年齢階層別では、被保険者数に占める前期高齢者（65 歳から 74 歳の方）の割合が増加傾向となっている。

2 歳入について

- ・国民健康保険税の税収については、令和 6 年度は税率改定を予定しているが、被保険者数の減少傾向を受け、前年度比では微増を見込んでいる。
- ・社会保障・税番号制度等システム整備費等補助金について、令和 6 年秋の保険証廃止に伴うシステム改修費等の費用に充てるため、大幅な増額となっている。
- ・医療水準、所得水準、被保険者数に応じて東京都に納付する国民健康保険事業費納付金が約 5 千万円の減額となったことなどから、一般会計からの繰入金が前年度よりも同様に減額となった。
- ・令和 6 年 1 月より産前産後の保険税減額制度が開始となり、減額分の補填として一般会計からの繰入金が増設された。

3 歳出について

- ・総務費について、加入者情報のお知らせを全被保険者に送付するとともに、令和 6 年秋の保険証廃止に伴い、資格確認書を発行するため、郵送料やシステム改修費等が計上されている。
- ・保険給付費は、年々増加をしていたが、令和 5 年度の実績を鑑み、令和 6 年度は前年度より約 4 億 1 千万円の減となった。
- ・退職者医療制度が令和 6 年 3 月 31 日で廃止となるため、実績が見込まれる科目以外は科目存置として予算計上している。